

注意

船用電子機器※の 不適切な使用が事故に繋がる！



ながら操船の危険

船用機器を見ながらの操船は、周囲の見張りが疎かになり、
衝突や乗揚げ事故の危険性が高まります。

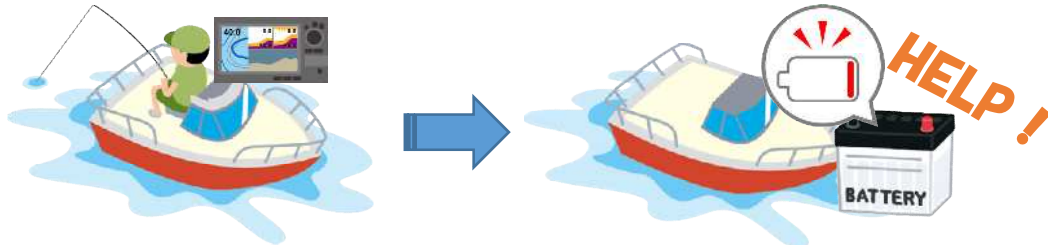


- 航行中に限らず遊漁・操業中も、
常時適切な見張りを徹底しましょう！



バッテリーあがりに注意

エンジンを止めた状態で、船用電子機器を使用し続けると、
バッテリーがあがり、航行不能となるおそれがあります。
※アイドリング状態でも、使用機器の状況によっては、バッテリーがあがるおそれがあります。



海上でエンジンが使えなくなると、風や潮に流され岩場等へ
乗り揚げたり、横波を受けて転覆する危険性が高まります。

- エンジン始動用以外に、予備バッテリーを準備し、
出航前の点検(電圧12.5V以上)と、**使用後の充電**を心がけましょう！



万が一のトラブルに備えて

万が一のトラブルに備え、仲間の船やマリナー等の救助艇による**救助体制をあらかじめ確保**しておきましょう！

また、併せて**入航時刻等を家族やマリナー等へ連絡**しておきましょう！